

信州大学医学部附属病院 脳神経内科、リウマチ膠原病内科に通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族・ご遺族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年12月8日

「ATTR アミロイドーシス患者の血清トランスサイレチンにおけるサブユニット交換解析およびアミロイド線維解析に関する研究」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4968
研究課題名	ATTR アミロイドーシス患者の血清トランスサイレチンにおけるサブユニット交換解析およびアミロイド線維解析に関する研究
所属(診療科等)	信州大学バイオメディカル研究所
研究責任者(職名)	矢崎正英(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年10月31日
研究の意義、目的	変異トランスサイレチンのアミロイド線維へのなりやすさを明らかにすることを目的とした研究で、発症機序解明に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1990年1月から2020年10月31日の期間に当院でATTRアミロイドーシス症について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／血液、組織など
他機関への試料・情報の提供方法	郵送、電子的配信により提供します
研究方法	過去に採取させて頂き凍結保存してある血清中のトランスサイレチンのアミロイド線維へのなりやすさや、臓器中のアミロイド線維を詳細に調べることでアミロイド線維形成機序を明らかにします。
共同研究機関名	米国スクリプス研究所(責任者:吉長恒明)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:矢崎正英
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 矢崎正英(信州大学バイオメディカル研究所教授) 電話:0263-37-2388

**【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。**

**利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、共同研究施設である米国スクリプス研究所に提供します。**

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。